

製品安全データ

1 化学品及び会社情報

<製品名>	: バラカ
<会社名>	: 株式会社アビオンコーポレーション
<住所>	: 東京都世田谷区野毛3-6-11
<電話番号>	: 03-6432-3401
<FAX番号>	: 03-6432-3403
<緊急連絡先>	: 福岡工場（電話番号：0943-25-1500）

2 危険有害性の要約

<GHS分類>	: 分類基準に該当しない。
<注意書き>	
危険性	: 危険物質としての分類基準に該当しない。
安全対策	: 使用前に取扱説明書入手し、すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。 指定された個人用保護具を使用すること。
応急処置	: 曝露または曝露の懸念がある場合、医師の診断、手当てをうけること。
廃棄	: 内容物、容器を都道府県知事／市町村の規則に従って、適切に廃棄すること。

3 組成及び成分情報

<当該製品の一般名称>	: 農業資材
<単一製品・混合物の区別>	: 単一製品
<成分、及び含有量>	
[有効成分]	
化学名又は一般名	: 煨焼ケイ酸アルミニウム（焼成カオリン）
分子式（分子量）	: $Al_2O_3 \cdot Si$
CAS番号	: 92704-41-1
濃度又は濃度範囲	: 100%
重金属含有量	: Cd<5ppm、Cr<500ppm、Pb<100ppm Hg<2ppm、Ni<300ppm、As<50ppm

4 応急措置

- <吸入した場合> : 空気の新鮮な場所に移し、安静を保ち、呼吸を楽にさせる。身体に異変を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受ける。
- <皮膚に付着した場合> : 付着部または接触部を大量の水と石鹼で皮膚を洗浄する。皮膚に異常がある場合は直ちに医師の手当てを受ける。
- <目に入った場合> : 直ちに多量の流水で十分に洗眼し、眼科医の手当てを受ける。
- <飲み込んだ場合> : 多量の水を飲ませて吐き出させ、口をすすぎ、直ちに医師の手当てを受ける。

5 火災時の措置

- <適切な消火剤> : 粉末消火剤、泡、多量の水等。特別な消火剤は必要なし。
- <消火方法> : 消火作業は、風上から行う。一般的には消火剤や多量の水で消火作業を行う。

6 漏出時の措置

- <人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 >
- : 十分な換気を確保。粉塵レベルを最小限に抑える。
無防備な人は近づかない。
皮膚・目・衣類との接触を避ける-適切な保護具を着用。
粉塵の吸入を避ける。十分な換気又は適切な呼吸用保護具が使用されている事を確認し、適切な保護具を着用。
床に濡れた製品があると、滑りやすいので注意。
- <環境に対する注意事項> : 河川、下水道、土壤に排出されないように注意する。
- <封じ込め及び浄化方法及び機材等>
- : 空中浮遊粉塵の発生を防ぐため、乾式掃除を避け、水噴霧又は真空掃除機（高効率微粒子エアフィルター付き）を使用する。密閉できる廃棄用の容器に回収する。漏出物を直接河川や下水に流さないように注意する。
-

7 取扱い及び保管上の注意

- <取扱い上の注意事項> : ラベルをよく読み、記載以外に使用しない。
幼児の手の届くところには置かない。
容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加えるなどの取り扱いをしてはならない。
眼、皮膚、衣服に付けないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
粉塵の発生を最小限に抑える。
浮遊粉塵が発生する場所では、適切な排気換気を行う。
換気が不十分な場合は、適切な呼吸用保護具を着用する。
- <保管上の注意事項> : 直射日光を避け、なるべく冷涼な場所に密閉して保管する。
-

8 ばく露防止及び保護措置

<ばく露防止>

許容濃度（曝露限界値、生物学的曝露指標）

: 設定されていない。

<保護措置>

保護具

- 呼吸器の保護具 : 適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具 : 適切な不浸透性手袋を着用すること。
眼の保護具 : 適切なゴーグル型保護メガネを着用すること。
皮膚及び身体の保護具 : 適切な不浸透性作業衣を着用すること。
-

9 物理的及び化学的性質

- 外観 : 白色粉末
臭気 : 無臭
pH : 6-8 (400 g/L 20°Cの水)
見掛け密度 : 0.4 g/cm³
相対密度 : 2.6 g/cm³
融点 : 1700°C
沸点 : 該当なし
可燃性 : 不燃性
爆発限界 : 非爆発性（爆発性に一般的に関連する化学構造がない）
水への溶解度 : ごくわずか (<10-2 g/L)

フッ化水素酸への溶解度 : あり
その他の情報 : データなし

10 安定性及び反応性

<安定性> : 通常の使用法では安定。
<反応性> : 通常の使用法では安定

11 有害性情報

<急性毒性> : 毒性なし。
経口毒性 : LD50>2000mg/kg bw (OECD420)
経皮毒性 : LD50>2000mg/kg bw (OECD402)
吸入毒性 : LC50 (4h) >5.07mg/L air (OECD436)
<刺激性>
皮膚刺激性/腐食性 : 刺激性なし (OECD404)
眼刺激性 : 刺激性なし (OECD405)
<感作性>
皮膚感作性 : 感作性なし (OECD429)
<発がん性> : 多数の労働者を対象とした疫学研究では、曝露と腫瘍形成との明確な関連性は明らかにされていません。

12 環境影響情報

<環境毒性>
魚毒性 : LC50 (96h) 淡水魚 (ニジマス) : >1000mg/L (OECD203)
水棲無脊椎動物 : EC50 (48h) ミジンコ類 : >1000mg/L (OECD202)
水生植物 : EC50 (72h) 藻類 : >1000mg/L (OECD201)
微生物毒性 バクテリア : データなし
水棲生物に対する慢性毒性 : データなし
土壌中の生物に対する毒性 : データなし
陸生植物に対する毒性 : データなし

13 廃棄上の注意

<安全で環境上望ましい廃棄の方法>

: 使用後に残った資材及び使用済み容器に付着した資材は河川、用水路、下水等の水系に廃棄しない。空容器等は圃場に放置せず、関係法令を厳守し、廃棄物処理業者に処理を委託する等により適切に行う。

14 輸送上の注意

<輸送に関する国際規制によるコード及び分類>

: 国連分類 該当しない。

包装、容器が破損しないよう、水濡れや乱暴な取扱いは避ける。

15 適用法令

各国の労働中の曝露限度の規制を参照してください。

ヨーロッパ: 規定 (E C) 1907/2006 のアネックス V 7 に従って、REACH 登録を免除されています。

米国連邦規定:

FDA: カオリン (ケイ酸アルミニウム、陶土、粘土) は、いくつかの特定の用途に使用できます (21CFR73、82、175、176、177、178、186、310、335、346、347、及び 872 のセクションを参照)。

TSCA: この製品は TSCA インベントリにリストされています。この製品には、TSCA のセクション 12 (b) に基づく輸出通知の対象となる物質は含まれていません。

WHMIS 分類: 非管理-0.1%未満の結晶性シリカを含む。

外国の規制: CAS1332-58-7 は以下のリストに登録されています:

AICS (オーストラリア)、DSL (カナダ)、IECSC (中国)、
ENCS (日本)、ECL (韓国)、NZIoC (ニュージーランド)、
PICCS (フィリピン)

16 その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の手続きを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は提供情報であって、保証するものではありません。